

平成29年 事業所向け放課後等デイサービス自己評価表 集計結果

放課後等デイサービス 我路

①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。

【現状と対策】

平成29年よりクラスを3つに分け、それぞれの活動スペースを確保した上でサービスを実施しています。

②職員の配置数や専門性は適切であるか。

【現状と対策】

・職員数については、配置基準を満たしています。専門性については法人内で実施されている園内研修や外部研修への参加等を通して、職員の専門性の向上に努めています。また理学療法士を配置し、療育や支援方法についてのアドバイスを心得て支援の参考にしています。また保護者からの要望に応じて、臨床発達心理士との面談等も実施しています。平成30年度からは言語聴覚士も配置し、より専門的な支援を行います。

③事業所内の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。

【現状と対策】

建物入口はスロープを設置し、館内は廊下・階段に手すりを設置しています。各教室の入り口は段差もなく、エレベーターや障害者用トイレも設置しています。

④業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標と振り返り)に、広く職員が参画しているか。

【現状と対策】

活動前のミーティングの実施、チーム会議等により、療育内容の検討や利用しているお子さまの状態等にあった支援ができてるか意見交換を行っています。サービス提供に関わる職員が参加し活発な意見交換が行われています。また、グループウェア(情報共有ソフト)を活用しながら、情報共有を図り支援の質の向上に努めています。

⑤保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。

【現状と対策】

行事や活動プログラム等については、本アンケート等で頂いた保護者からの意見も踏まえながら改善に努めていきます。また今後も継続してアンケートを実施しお子さまやご家族の意向を把握し業務改善につなげるよう努めていきます。

⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。

【現状と対策】

・集計した自己評価については結果や改善策をまとめ、ホームページ等で公開をしています。

⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。

【現状と対策】

・第三者による外部評価の実施は行っていませんが、保護者アンケートによる評価や鹿児島市からの指導監査という形で外部評価を受けています。指摘を受けた部分があれば早急に改善を行っています。

⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。

【現状と対策】

毎月園内研修やDVD視聴会を実施し、福祉全般の分野に渡って幅広く研修を行っています。その他、職員全員に各種講演会等の案内文書を配布して参加希望を募っています。また職員から参加したい研修の希望を取り、県内・県外への研修にも参加できるように調整を行っています。全職員が1年間のうち必ず外部研修・法人内他事業所への体験実習・外部事業所見学のいずれかに参加しています。

⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後デイサービス計画を作成しているか。

【現状と対策】

・個別支援計画を作成する際は、適切にアセスメントを行った上で作成しています。その際、お子さまの児童利用計画を確認し、保護者からのアセスメントシートを参考にしたり、ヒアリングを行ったりしながらお子さまの強みや希望・課題、保護者の要望等を照らし合わせ、計画を作成しています。また、完成したものは保護者へ内容を説明し、同意・交付のもとに支援を行っています。また、発達検査、知能検査等も行いながらお子様の状態像を把握し、支援に活かせるよう努めています。

⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。

【現状と対策】

・現在は、独自のアセスメントシートと、ASIST学校適応スキルプロフィールを行い、支援の参考にしています。独自のアセスメントシートは、モニタリングや個別支援計画とも連動しています。

⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか。

【現状と対策】

・毎月のプログラムについてはチーム内で意見を集め、お子さまの希望や保護者の要望も参考にしながら作成しています。活動の運営についてはリーダーを決め、リーダーが作成した活動案をもとに参加職員で事前の打ち合わせを行い、前回の反省点を踏まえ、活動の意図やお子さまに応じた支援方法等の共通理解に努めています。

⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。

【現状と対策】

・活動内容については固定化しないようチーム支援者全員で定期的に協議検討を重ね、保護者・利用者本人からも様々な意見を取り入れながら活動プログラムを考えています。スイミー・星組ではソーシャルスキルトレーニング(対人関係、集団生活に必要とされる社会性を高める活動)に取り組んでいます。土日や祝日の活動については、利用予約状況に応じて事前に活動計画を立て、楽しい休日の過ごし方という視点をもち実施します。

⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。

【現状と対策】

・平日、休日、長期休暇については、お子さまそれぞれの一日の流れや利用時間が異なりますので、活動内容については事前に作成し、その流れにそって支援を行っています。また、お子さまによって活動の目標を決め、個別に課題を設定しながら実施しています。

⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後デイサービス計画を作成しているか。

【現状と対策】

・集団活動へ参加する時間、自由活動を行う時間等、区切りをつけてメリハリのある支援の実施に努めています。また、お子さまの個別の課題活動については、宿題等に取り組む時間も取り入れ、個別対応を想定した活動計画を作成していきます。

⑮支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。

【現状と対策】

・活動の流れについては事前に指導案を作成し、参加職員に配布し周知しています。また、支援開始前にミーティングを行い、活動の流れや注意事項の確認、役割分担について打ち合わせを行っています。

・今後もミーティングでは当日の活動内容と重点的に支援の必要な点を確認し、お子さまの個別支援の充実につながるよう職員間で検討をしていきます。

⑯支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日の支援の振り返りを行い気付いた点等を共有しているか。

【現状と対策】

・支援終了後、利用者の特記事項・確認事項についてはグループウェア(情報共有ソフト)を利用して関係職員に伝達・報告し情報の共有を図っています。活動の振り返りについても、指導案の見直しを含め実施した職員間で内容を検討し臨床発達心理士にアドバイスをもらいながら、次の活動の参考にあるよう努めています。

⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

【現状と対策】

・利用時の様子については、全員分を毎日支援日誌に記入しています。個別の記録についてもケースファイルにまとめいつでも閲覧できるようにしています。記入した記録も参考にしながら活動内容や支援方法の改善に努めています。

⑱定期的にモニタリングを行い、放課後デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。

【現状と対策】

・個別支援計画作成後、定められた期間に合わせてモニタリングを行い、担当・チーフ・児童発達支援管理責任者および参加可能な職員でモニタリング作成会議・個別支援計画作成会議を行います。その際にお子さまの状況やご家族の要望等を参考にし、見直しか継続かの判断を行い、見直しの場合は再アセスメント、個別支援計画の見直し・作成を行っています。

⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。

【現状と対策】

・お子さまの課題を解決することを目指し、総則にある日常生活動作等及び自立生活を目指した活動支援、創作・地域交流・余暇支援など、学校や家庭と連携した活動プログラムを作成して支援を行っています。

⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい物が参画しているか。

【現状と対策】

担当者会議については、児童発達管理責任者、またはチーフ、サブチーフが参加しています。参加が難しい場合は事前に相談支援員に情報提供を行い、利用時の様子を伝えたと共に会議の内容について情報共有を行い、課題やニーズの把握と支援内容の統一に努めています。

㉑学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡帳等(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。

【現状と対策】

・学校から年度の初めに年間計画・行事予定表をもらっています。下校時間も記載されており、変更がある場合は事前に連絡があります。
・利用者について学校への確認事項があれば引継ぎの際に確認を行います。また、必要に応じて保護者承諾の上、直接学校に連絡して教員と情報交換や保護者同席でのケース会議を行っています。

㉒医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。

【現状と対策】

・現在、特別に医療的ケアが必要な利用者はいませんが、利用時に服薬をする方については、保護者に必ず服薬依頼書(薬の種類、量、服薬時間等)を記入をしていただき、誤与薬や服薬忘れがないように努めています。
・てんかん発作など、緊急時に使用する薬については、使用条件や保管場所についてアセスメントシートや個別支援計画へ記載し、職員間で情報共有し即座に対応できるよう努めていきます。

㉓就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。

【現状と対策】

・利用前に各事業所で作成した夢すこやかファイルを保護者より預かり内容を確認したり、相談支援専門員から情報の提供を受けながら情報共有に努めています。

㉔学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。

【現状と対策】

・お子さまの進路先から連絡があった場合や保護者から情報提供の依頼があった場合に活動の様子等の情報提供を行っています。情報提供については保護者の許可を頂いた上で実施しています。

㉕児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。

【現状と対策】

・公開療育や児童発達支援研修会等の機会を利用し、児童発達支援センターの取り組みを学んだり、鹿児島県こども総合療育センター等の研修会にも積極的に参加しています。

②⑥放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。

【現状と対策】

障害のないお子さまと交流する機会はほとんどありませんが、通常学級に在籍しているお子さま、特別支援学級に在籍しているお子さまは、学校で日常的に障害のないお子様とも活動をしているため、学校での様子についても把握するように努めています。

②⑦(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。

【現状と対策】

当法人の理事長が自立支援協議会の子ども部会に参加しています。

②⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。

【現状と対策】

・保護者とは連絡帳を通して自宅での様子、我路での様子をやりとりしています。また、気になる点などは送迎時の引継ぎの際に保護者や学校の担任教諭とも確認しながら情報の共有を図っています。また気軽に相談してもらうため、随時電話でのやりとりや必要に応じて個別面談等も実施しています。

②⑨保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。

【現状と対策】

今年度よりペアレント・プログラムを実施しています。また、連絡帳や個別面談、電話でのやりとりなどでお子さまの関わり方や支援方法についても提案を行っています。

③⑩運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。

【現状と対策】

・利用前の見学や契約時に施設の紹介や放課後等デイサービスの支援内容、活動プログラム、および利用料等の説明を行っています。また、保護者からの質問にはその都度返答しています。今後も継続してわかりやすい説明を行い、即時対応できるよう努めます。

③⑪保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。

【現状と対策】

・毎年9月に個別相談会を実施し、保護者からの要望や悩みについて話を聞き、担当職員が返答を行っています。期間以外でも相談があればその都度対応し、事業所側からも個別面談やケース会議の提案を行っていますが、状況等により即時に返答が難しい場合やチーム内で検討し返答する必要がある場合は、後日電話連絡等にて返答しています。また、年2回保護者会を実施し、勉強会やグループ毎の茶話会を行い、保護者同士、職員と保護者で意見交換ができる場を設けています。

③② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。

【現状と対策】

・父母の会はありませんが、保護者会を年2回、保護者懇親会を年1回実施しています。実施の際は事前に日程をお知らせして早期に参加の呼びかけを行っています。また、お便りにも保護者会の様子を載せ、各ご家庭に送付しています。

③③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を設備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。

【現状と対策】

・苦情については第三者委員会を設置しており、事業所と保護者でサービスの契約を行う際に説明を行っています。苦情の内容および対応等については即時返答を行い、専用の用紙に記録として残し第三者委員会で報告しています。また、結果についてはグループウェアや各会議で全職員に伝達し、再発防止に努めています。また、事業所の入口にご意見箱(園長宛、スタッフ宛)を設置しました。頂いたご意見については、即時返答させていただきます。

③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

【現状と対策】

・活動概要や行事予定については、毎月、我路だよりを発行し活動内容予定や前月についての振り返り等を掲載し、前月末までに各ご家庭に配布しています。

③⑤ 個人情報に十分注意しているか。

【現状と対策】

・個人情報の取り扱いについては、人権擁護ハンドブックを活用し、管理の徹底に努めています。写真や名前、作品等の展示については、利用契約時に確認し、許可を得た方のみ掲示や掲載を行っています。この件に関して問い合わせがあった際には、写真や名前、作品の展示理由と掲示するにあたり保護者の許可を得ている旨の説明を行っています。

③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮しているか。

【現状と対策】

・お子さまとのコミュニケーションの手段としては、お子さまの状態に合わせて写真や絵カードなどの視覚的なツールも使用しています。保護者との連絡については、利用時の引継ぎの際に短時間ではあっても漏れがないよう、伝えるべき要点を簡潔にまとめて伝達できるよう心掛けています。

③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

【現状と対策】

・法人として、バザー・秋祭り・夏祭り・夕涼みコンサートを実施しています。事前に看板設置や地域の自治会などを通して行事の案内を行っています。秋祭りでは地域住民の販売ブースを設けるなどし、約1,000人の来場者がありました。また事業所内の会議室を開放し地域の常会の会場として利用いただいています。

③⑩緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。

【現状と対策】

・非常災害マニュアルや感染症マニュアル等を策定していますが、今後保護者への公開方法については検討していきます。

③⑨非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。

【現状と対策】

・長期休暇(春休み、夏休み)を利用し、年に2回避難訓練を実施します。総合防災訓練として、地域生活支援センターあさひが丘全体で実施します。
・避難訓練の実施日については、連絡帳や保護者あての手紙(我路だより等)で事前に伝え、実施後はお子さまの状況などを連絡帳に記入し、保護者へ確実に伝わるよう引継ぎを行います。また、避難訓練中の全体の様子や各利用者ごとの様子については保護者へ伝えるとともに施設側の記録にも残し、今後に繋がられるよう努めていきます。

④⑩虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。

【現状と対策】

・虐待防止に関する研修を毎年行っています。また、自己チェックシート、人権侵害防止に関する書類への署名など、虐待防止に向けた意識向上の為の取り組みを行っています。

④⑨どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。

【現状と対策】

・基本的に身体拘束は行う場面はありません。障害特性により興奮状態に陥った場合などの対応については、利用開始時に保護者との協議で統一して行うことを申し合わせています。極端な他害行為等の場合は本人から離れて対応する事を基本としていますが、状況によって静かに過ごせる場所への移動等の対応も行い、必ず職員がついて見守りを行っています。

④⑧食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

【現状と対策】

・利用契約時の保護者との聞き取りの中で、アレルギー症状やアレルギーの恐れのある食材について情報共有を行っています。得た情報については、栄養士と確認し記録に残します。また食事前に必ず、職員と栄養士がアレルギー除去食を確認し、目で見てわかるように食器の形や色を変更するなどし、誤って提供することがないように注意しています。

④⑦ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。

【現状と対策】

・ヒヤリハット報告書を作成し、職員全員が閲覧できるようグループウェアで配信しています。様々なケースから事故や怪我に繋がるケースを予測し、事前に防止できるよう努めています。